

Shono Street

庄内農業高等学校 図書館だより

R3 No.9

12

2021.12.20

冬休み貸出、始まっています！

今年度2回目の「全校一斉新聞を読もうの日」も予定通り実施できました。皆さんの新聞に向かう様子やワークシートの結果は次号でお知らせします。もうすぐ冬休みですね。せっかくの機会に、未知のジャンルの本に挑戦するのもいいし、お友達のおすすめ本などを読んでみるのもいいでしょう。

Have a good year !!

貸出冊数 一人3冊（教職員は5冊）

貸出期間 12月24日（金）まで

※ 12月27日（月）から通常の貸出に戻ります。

返却期限 1月7日（金）始業式

休館日 12月29日（水）～1月4日（火）



★ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い ★

- ・利用前と利用後の手洗い、マスク着用を忘れずに。
- ・図書の返却は図書館入り口の返却BOXに。
- ・3密にならないように。



STAY SAFE!!

先生のおすすめの一冊



今年本校に着任された先生方のおすすめの本が展示されています。どうぞ借りにきてください。冬休みに読んでみよう！！

原田利信教頭先生『夏への扉』

渡部久美先生『神去なあなあ日常』

佐藤美香先生『風が強く吹いている』

松本陽子先生『ライ麦畑でつかまえて』

小松晃彦先生『暴れん坊将軍』『だるまさんシリーズ』

金内琢馬先生『「のび太」という生きかた』

New Books



☆は、リクエスト本。ほしい本があれば図書館まで

☆『その農地、私が買います』



「実家の畑を、太陽光パネルにしたくない」と闘いの狼煙をあげたものの立ちはだかる壁の数々。現実はいかに乗り越えるのか。高橋久美子 著。ミシマ社 刊。

☆『すばらしい人体』



過去から未来まで人体及び医学を楽しく俯瞰する本。美しく、神秘的な人体をめぐる知的冒険を始めよう！ 山本健人 著。ダイヤモンド社 刊。

『本当の「心の強さ」ってなんだろう？』



一生を支える折れないメンタルの作り方。学校では教えてくれない人生の逆境を乗り越える方法を色々な角度から解説している。 齋藤孝 著。誠文堂新光社 刊。

☆『魔眼の匣の殺人』



人里離れた施設の孤独な主は、予言者と恐れられる老女。閉ざされた「匣」の中で告げられた死の予言は成就するのか。 今村昌弘 著。東京創元社 刊。

☆『七転八倒百姓記』



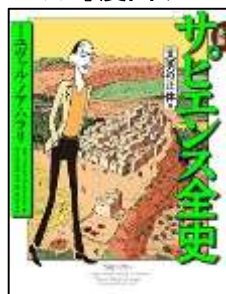
周囲の反発を受けつつも自分のやり方を貫く。まさに社会を変える「徳農家」にふさわしい人だ。多くの仲間、力もあった。 菅野芳秀 著。現代書館 刊。

☆『愛子の格言』



親と子、男と女など、世の常識、風潮に元気な愛子節が小気味よい。「ありのままに自分らしく」という言葉に勇気が湧いてくる。 佐藤愛子 著。中央公論新社 刊。

☆『漫画サピエンス全史』



人間の運命を決めた1万2000年前の分かれ道。私たちの世界の核心に迫る。 ユヴァル・ノア・ハラリ 著。河出書房新社 刊。

『「のび太」という生きかた』



著者はドラえもんの研究家。登場人物が夢や悩みなどにどのように対応し、解決したかを考え、人生を豊かにする創造的営みを模索する。 横山泰行 著。アスコム 刊。

『夏への扉』

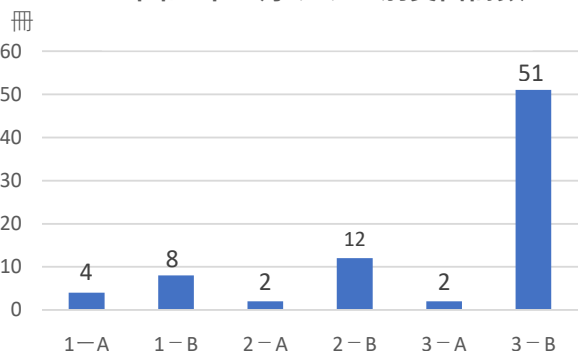


タイムトラベル小説の名作。ぼくの愛猫ピートは、冬になると「夏への扉」を探しはじめる。そして、ぼくも「夏への扉」を探していた。 R・A・ハインライン 著。早川書房 刊。

11月の図書貸出状況

11月の図書貸出総数は全校で107冊でした。内訳は、生徒への貸出数が79冊、教職員への貸出数が28冊です。

令和3年11月 クラス別貸出冊数



令和3年11月 学年別貸出冊数

